



学園通信

練馬区立大泉学園中学校

平成 29 年 5 月 31 日発行 校長 晴佐久和彦

行事を通して一段と成長

先週の土曜日、晴天の下で開催致しました本校第 55 回運動会には、早朝よりご来賓の方々をはじめ、多くの地域・保護者の皆様にご来校くださり、おかげさまで無事終わることが出来ました。ご支援・ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

運動会当日の様子につきましては本通信 2 面以降に詳述しておりますが、私からは、練習を積み重ねながら本番に向けて一步一步成長していった子ども達の成長の軌跡をお伝えしたいと思います。

まず個人種目や学級全員リレーについてです。事前の練習時間は限られていましたが、当日は緊張感と戦いながらも集中力を高め、どの生徒も全力疾走ができていました。一人一人が自分の持てる力を出し切って走ったことで、体力とともに自信も高まったことと思います。

もう一つは、運動会の華とも言える学年種目（団体種目）についてです。学級内での生徒の協同性、しっかりとした練習の積み上げ、そして一人一人の意識の高さ。そういった要素が合わさらなければ、決して満足できる結果を得られないのが団体競技です。1 年生の大縄跳びでは練習開始当初「まず 1 回跳ぼう」というところから、また 2 年生の中ムカデでは「どうしたら揃って前に進めるだろう」という段階から練習が始まりました。そうした中、クラスによっては「何とかしなければ」という意識が高まり、練習の仕方や声の出し方も明らかに変わってきました。リーダー役の生徒が指示できるようになるとクラスは大きく前に進みます。さらに、あるクラスの競技のレベルが上がると、他のクラスに「自分達も頑張らなければ」という危機感が芽生えてきます。苦勞しながらも練習を重ね、当日は全クラスとも見応えある競技ができました。この数週間で、練習・準備の大切さを改めて学べたことと思います。

そして、3 年生の大ムカデです。学校にとって最高学年である 3 年生の存在がいかに大きいかということは常々感じているところですが、この 4 月に着任した私にとって、運動会で 3 年生がどんな頑張りをを見せてくれるのか大いに期待していました。競技において、特に最後の 1 周での男女全員ムカデは、練習段階から団結力とともに高度な集中力が要求されます。そうした中、練習での 3 年生各クラスの掛け声、他と合わせようとする意識は抜群であり、下級生の模範となるものでした。そして本番。落ち着いて自信を持って進む姿、ムカデが崩れてもすぐ協力して体勢を立て直していく姿、レースを見ながら本当に大きな感動をもらいました。結果として順位は出ましたが、それとは別に、クラスのさらなる結束や大きな自信が得られたことと思います。

よく「学校の伝統」と言われますが、学校行事をはじめ学校生活に取り組む生徒達の姿そのものが、その学校の伝統であると考えます。運動会という大きな行事を通して、生徒一人一人が学んだこと、そして学校全体として学んだことを糧にして、学園中の新たな伝統を築いていきましょう。立派に取り組んだ皆さんなら、きっと実現していけるはずですよ。

セーフティ教室を実施しました

4月21日（金）の午後、1年生と全学年保護者、地域の方を対象にセーフティ教室を行いました。石神井警察署から講師をお招きし、中学生が巻き込まれがちな犯罪、特に情報端末機器に関わる犯罪について、DVDの視聴や、お話しを伺い、理解を深めました。

講習会后、1年生は各教室に戻って振り返りを行いました。その中で、「SNSの使い方を間違えると怖いことになる。」「SNSの使い方を間違えると、今、大変だけでなく、将来にも影響してしまう。」また、「小学生から中学生と、立場とともに、自分たちの罪や行動に対する責任の大きさを実感した。」といった感想がありました。

情報端末機器はとても便利なものではありますが、使い方を誤ると、犯罪の被害者にも、また加害者にもなり得るということを改めて学ぶ機会となりました。

ご参加くださった関係機関、保護者、地域のみなさま、ありがとうございました。6月2日（金）の午後には、情報モラル講習会を開催いたします。多くの皆さまのご参加をお願いいたします。



第55回 運動会 「起こせ革命！！ 学園魂」



5月27日（土）、運動会が実施されました。前日は本降りの雨。土曜日は晴れとの予報でしたが、それでも、グラウンドコンディションはどうだろうか、時間通りに始められるのだろうかと不安な中、当日の朝を迎えました。

どんよりと重い雲が空を埋め尽くし、時々、ばらばらと雨粒が落ちてくる中、準備は始まりました。まだ、校庭には水たまり。スポンジなどを使って、水を吸い取り、グラウンドは整備されていきました。

そして、開会式。風は少し強かったのですが、かえって、暑さを感じることなく、順調に運動会はスタートしました。午前中は個人種目（100M走、1000・1500M走、二人三脚）、1年生の「大縄跳び」、2年生、3年生の全員リレーが行われました。1000M走では新記録も飛び出し、大いに盛り上がりを見せました。

午後は、これも新記録が出た50Mハードル、1年生の全員リレー、2年生の「中ムカデ」、そして、学園中名物でもある、3年生による「大ムカデ」、最後に各学年学級

対抗選抜リレーが行われました。

抜きつ抜かれつの白熱のレース展開あり、またゴール直前での大逆転あり、熱い闘いが繰り広げられました。しかし、1日を通じて、何よりも印象的であったことは、どんなに先頭と離されても最後まで全力で走り抜く姿、また、学年・クラスを超えて声援を送り続ける生徒たちの姿でした。結果発表では、1位から4位（2年生は5位）までの順位が発表されましたが、どのクラス、何位の発表であっても同じように拍手が起こりました。勝負は真剣に、しかし、終わればお互いの健闘をたたえ合い、拍手を送り合う姿に、学園中生の心意気を感じずにはられませんでした。

閉会式では、校歌合唱中に、伴奏CDの音が途切れてしまうというハプニングがありました。しかし、慌てずリードした指揮者と、最後まで歌い続けた全校生徒。歌い終わったときには、今日一番の拍手が起こりました。

準備から後片付けまで、係生徒が手際よく動いた1日。全体の動きも引き締まり、予定よりも少し早めの進行で、1日を終わりました。

ご来校いただき、生徒に声援を送ってくださった来賓・保護者・地域の皆さま、受付や警備のお手伝いをいただいたPTA役員・委員・係の皆さま、ご協力ありがとうございました。また、ご近所の皆さまには、かけ声や笛の音、音楽など、朝早くから大きな音でお騒がせいたしました。

多くの方に支えられ、第55回運動会を無事終了できましたことをお礼申し上げます。

第55回 運動会を終えて

朝方まで降っていた雨も上がり、絶好の運動会日和で行うことができました。新学期早々、短い練習期間のなかで、クラスの団結を強め当日に臨みました。

運動が得意な生徒も苦手な生徒も、自分のもっている力を出し切りました。クラスの仲間が熱い声援を送るなか、ゴールでは数々のドラマがありました。勝って思い切り喜び合ったり、負けて悔しい涙を流す、汗がキラキラ光り、笑顔が弾ける生徒たち。その姿を見て心から感動しました。運動会には生徒一人一人が頑張り夢中になれる瞬間があると、強く感じました。

全力で駆け抜けた生徒たちにもう一度拍手を送りたいです。

保健体育科・運動会担当 宮坂 春子



運動会 総合順位・主な種目の結果・新記録

総合順位

1年生	優勝 B組 (225点)
	準優勝 C組 (193点)
2年生	優勝 E組 (186点)
	準優勝 B組 (167点)
3年生	優勝 A組 (216点)
	準優勝 D組 (192点)



3年生 選抜リレー前に全員で円陣

1年生



	全員リレー	大縄跳び	学級対抗選抜リレー
1位	B組	A組	B組
2位	C組	B組	C組

2年生



	全員リレー	中ムカデ	学級対抗選抜リレー
1位	B組	E組	C組
2位	E組	B組	E組

3年生

	全員リレー	大ムカデ	学級対抗選抜リレー
1位	A組	C組	A組
2位	D組	A組	D組

新記録

3年 女子 1000M走

寺田 晴香 さん 記録 3分24秒75

※これまでの記録 3分29秒 (H18年)

3年 女子 50Mハードル

木村 美紅 さん 記録 8秒78

※これまでの記録 8秒79 (H28年)



勝負のあとは、みんなで健闘をたたえ合う